

平成29年度 第2回 学校協議会の報告

平成29年10月18日(火)14時50分より、平成29年度第2回学校協議会を開催しました。協議会開始に先立ち、各学年授業参観を実施いたしました。その後、校長室にて協議会を開催、校長より挨拶と委員紹介および事務局紹介を行い、続いて次の3点について校長および事務局から報告と説明がありました。

- ① 夕陽学（総合的な学習の時間）での情報科の実践例
- ② 平成29年度 授業アンケート（前期）結果について
- ③ 平成29年度 学校経営計画の進捗状況

これらの報告に対して協議に入り、委員の皆様から以下のような提言やご意見をいただきました。

○ 授業参観について。

- ・ 電子黒板の活用は図やグラフの提示（数学）、教材に音を入れる（英語）等効果的活用がなされており、生徒が積極的に授業参加しており、理解しやすく非常に有効だと感じた。今後パソコンやスライドから離れられないことは避けるよう留意する。

○ 夕陽学（総合的な学習）についての取り組みについて

- ・ 「他者への伝え方」、「伝える力」を考えることができ、等将来役立つスキルを身に付けられる。
- ・ 夕陽生の興味、関心の高さが感じられた。将来を見据えて自分たちに必要なスキルを磨きたいという意識が高いと感じた。中学校では実施するのは難しいと感じる。
- ・ 研究発表前の生徒の「決意表明」が面白い。気持ちが引き締まる。
- ・ この取り組みによって自分の学校に愛着が持てる。

○ 授業アンケート結果について

- ・ アンケート全科目共通項目 5 「視聴覚教材を使用する場面がある」の質問内容を改善してはどうか。
「視聴覚教材」→「ICT教材」への変更提案があった。

○ その他

- ・ 様々な取り組みの中でグループでのプレゼン発表が多く用いられているが、グループ編成に際し、生徒にやらされている感はないか、目的意識はあるのかが気になる場所である。
- ・ 生徒は将来社会に出て役立つスキルが身に付けられると感じているのではないか。
- ・ 男子生徒が少ないが、受験生（男子）が現役の男子生徒の学校生活を気にしている（不便なことはないか）
- ・ 環境整備で掲示物が廊下に関してはにぎやかでまとまりがあり、生徒のニーズに合う掲示が揃っている。教室では非常にシンプルで勉強に集中できる環境である。

以上の提言やご意見に対して事務局からは以下のような発言がありました。

- アンケート全科目共通項目 5 「視聴覚教材を使用する場面がある」の質問内容を「ICT教材」等への変更に向けて検討する。
- プレゼングループの編成については、プレゼンが得意な生徒を各グループ1人は入れて編成している。
- 夕陽丘高校は男女関係なく互いに成長し合える学校であり、環境も整っており、部活動にも積極的に男女比の問題は学校運営上大きな問題ではない。

最後に座長の木原先生より夕陽生の興味、関心の高さと将来の自分たちに役立つスキルを磨きたいという意識が高く、夕陽学がより意味を持つものになっているという話をまとめとして閉会となりました。

平成 29 年度 第 1 回 学校協議会の報告

平成 29 年 5 月 23 日(火)16 時より、平成 29 年度第 1 回学校協議会を開催しました。校長の挨拶に続き、委員紹介・事務局紹介を行い、次の 3 点について事務局から報告・説明をしました。

- ④ 平成 28 年度学校評価と平成 29 年度学校経営計画について
- ⑤ 平成 29 年度授業アンケートについて
- ⑥ 進路実績報告

これらの報告に対して委員長を中心に協議に入り、皆様から以下のご提言やご意見をいただきました。

- 校内の学校説明会について
 - ・ 中学生の保護者にとって、私立を含めて進学先を検討する 1 月に学校説明会があるとありがたい。
- カリキュラムマネジメントについて(教員の仕事の進め方)
 - ・ 様々な取組に夢があって良い。職員に多忙感やストレスはないですか。
 - ・ 教科間・分掌間の連携を大切にしてほしい。
 - ・ 教科の指導内容の「見える化」については是非されるとよい。さらに、データを出し合うだけでなく、出し合ったデータを積極的に使うことを意識してほしい。来年度以降プラン化できるといい。
- ICT の活用について
 - ・ 教員がうまく使えるようになるのはもちろん、生徒がうまく使えるようになると、学校教育の質も上がる。学校の特徴として対外的に誇れるのではないか。
 - ・ 教員が ICT を上手く使えば使うほど、説明の時間が長くなりがちである。ICT を使って「短時間で」上手く説明を行い、生徒が考えて動く授業をつくる必要がある。
 - ・ アナログに対して全てを否定しているわけではなく、ICT という道具に使われることがないように意識してほしい。
- その他
 - ・ 様々な取り組みをされる中でグローバル色が強まってきた印象である。
 - ・ 教員が多忙であると言われている中で、これだけ新しいことに挑戦しているのはいいことである。
 - ・ 生徒の笑顔があるから頑張れるという現職の感覚は、保護者としてとても嬉しい。

以上の提言やご意見に対して事務局からは以下の発言がありました。

- 1 月開催の学校説明会については、意見を持ち帰って検討したい。現在は個別に対応しており、例年、1 月以降、数組の案内・説明を実施している。
- 忙しいが、生徒の持つ夢にエネルギーをもらっている。今後は複数で研修に参加し、内容を還元したり、教科・分掌間のつながりを持たせたりすることで横の連携を強化していきたい。

最後に校長より「夕陽丘高校は、生徒・保護者・教職員・同窓会等、オール夕陽で様々な取組ができる恵まれた学校です。今後は、働き方改革を踏まえ、よりよい職場環境になるよう努めたい。」との話があり、閉会となりました。